

## 西村市政 12 年を振り返って



黒田 秀一 議員  
(自由民主党・かさい市  
民の会・無所属の会)



**問** 大幅な人口減少について。

**答** (市長) 加西インター周辺の開発が進み、人口が増える環境が整いつつあります。人口増に希望を持って市の未来を描いていくべきであると思っています。

**問** 小中学校の再編について。

**答** 小学校は 11 校を存続させ、中学校区を単位とした学園構想を推進します。中学校は北条中と泉・善防・加西中を統合した 2 校とし、適正規模を維持します。

また、スクールバスの運行を検討しています。

**問** 新病院建設及び医師の減少について。

**答** 新病院は免震構造を採用し、地震による院内医療機器の損傷を最小限に抑え、速やかに医療行為を継続することができません。事業費 138 億円のうち起債は約 122 億円で、令和 38 年に償還が終了する予定です。また、医師 8 名の減により救急体制は制限されますが、改革プランにおいては適正な数で変遷しています。

**問** 小野クリーンセンターの新施設建設等について。

**答** 新施設整備は用地選定から地元説明、同意、計画策定や環境調査など様々な工程を経て

設計、建設と 10 年程度かかります。令和 4 年 4 月に交わした基本合意の中では、現施設の廃炉費用について、加西市の負担は現在のところ計量棟のみとなっています。加西市クリーンセンターの焼却施設の解体撤去は、国県へ補助金について働きかけ、市の財政状況も勘案して慎重に計画していきます。

**問** 北条鉄道の経営状況及び行き違い設備工事について。

**答** 北条鉄道の売上げは上がっていますが、赤字解消には至っていません。また、法華口駅の行き違いのためのホーム延伸工事は、近畿運輸局の認可を受けた方法で実施しており問題ありません。定期利用者も増えており、増便による効果が出ていると考えます。今後も安全運行に努めます。

## 小野加東加西環境施設事務組合議会 第 97 回定例会について



衣笠 利則 議員  
(21政会・加西ともて育つ会)



**問** 新年度予算を提案する組合議会の開催に当たって、なぜ管理者会において事前に議論されなかったのか。予算概要には延命化対策費が計上されているにもかかわらず、撤去費用の対象とするか、しないかの部分の記載がない。確認書に沿った予算ではなく、納得できる内容ではない。

**答** (市長) 合意事項に基づく予算提案ではなかったことは遺憾に思います。組合予算の決裁段階において「撤去費用の対象となる事業について、令和 5 年度

整備事業での該当はない」という文言を入れるよう意見を書きました。当然、管理者会が開かれなかった責任は、管理者、副管理者双方にあります。その意見を受けた事務局、あるいは管理者が管理者会を招集すべきだったと思っています。その点でこれまでとは違う議会となったという認識です。

廃炉費用の基本的な枠組みは管理者、副管理者で合意していますが、令和 5 年度予算では合意事項が違う形となり遺憾に思っています。これまでと変わらない整備事業を前倒して延命化を図るのであれば、延命化対策費 1 億 1,000 万円を別出して予算へ計上する必要はないと主張しています。その区分けがあやふやな状況ですので、今後対応が必要となります。

**問** 廃炉費用と新しい焼却炉に対する市長の考えは。

**答** (市長) 廃炉費用の対象については、加入後に大規模改修があれば加西市も負担しますが、廃炉費用の対象となる資産の考え方に意見の相違があり、加西市としては加入時の考え方に沿って今後も協議を続けていく必要があると思っています。

次のごみ焼却施設への投資に加え、加西市の焼却炉の廃炉費用が循環型交付金の対象になるよう、県にも協力していただき、また組合の中で共通の施設整備をすることを管理者会で要望しています。廃炉問題と合わせて新しい市長、新しい議会において判断していただければと思います。